



大阪宣言2025

がんとあなたの心臓 ~Cure Cancer, Save Your Heart

がん治療に関連する心血管合併症が、がん患者やがんサバイバーの生命予後やQOLを左右する大きな要因となり、循環器医の専門的な対応を必要とするケースが増えています。また、がんの治療が将来、心血管疾患を引き起こす重大なリスク因子となることもあり、治療中のみならず、がんサバイバーには定期的な心血管モニタリングが求められます。このような状況の中で、がん医療における循環器疾患を専門に扱う新しい臨床研究分野として、腫瘍循環器学が誕生しました。わが国でも2011年に大阪府立成人病センター（現大阪国際がんセンター）で最初の腫瘍循環器外来が開設され、その後、全国で診療体制が整備されています。腫瘍循環器診療では、がん診療科と循環器科の医師が診療科横断的に協力し、また多職種が連携・協働して、より良いがん医療のために、心血管リスクの管理や心血管合併症への対応を行います。さらに、がんサバイバーに対する心血管モニタリングと予防的介入も行います。腫瘍循環器診療発祥の地「大阪」にて、日本腫瘍循環器学会は、あなたの心臓や血管を守り、がん患者・サバイバーの生命予後の延伸とQOL改善を目指すことを宣言します。

2025年10月 日本腫瘍循環器学会

学会ホームページはこちら▶

